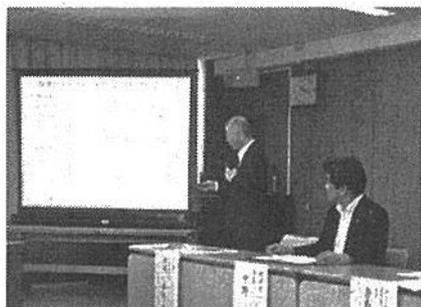


「統合型データベース」

オリコンが効果検証

施設などの情報の構築・更新・活用に関する行



コスト削減効果などを説明するオリコンの野崎秀則代表取締役社長 (左)

政コストが半減されること
とが明らかとなった。

オリエンタルコンサルタ
ンツ(オリコン、野崎秀
則代表取締役社長)はこ
のほど、静岡県焼津市、

名古屋工業大学と共同で
開発し、2017年4月

に稼働させた「統合型デ
ータベース」と、インフ
ラの維持管理業務を支援

することを目的とした
「維持管理業務支援IC
Tツール」の試行運用の

効果検証の結果を発表し

た。

オリコンは、14年度か
ら「統合型公共施設等デ
ータベース」の開発に着
手。以後、実務レベルに
おける課題の整理と解決
策の検討などを行い、機
能の開発・強化を進めて
いた。

また、17年4月からは、

建物系施設を対象とした
「統合型データベース」
を実運用に向けて本格的
に稼働させていた。

この検証結果を受け
て、いずれのツールも同
市の全庁的な施設管理を
推進するための基盤とし
て運用してもらう予定だ
という。